

ZEPHYROS

ゼフュロス No.62

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2015年2月20日発行

ISSN1342-8071



グエルチーノ展

よみがえるバロックの画家

会期：2015年3月3日（火）～5月31日（日） 企画展示室

「グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家」



《聖母子と雀》
1615-16年頃 油彩／カンヴァス
ボローニャ国立絵画館 サー・デニス・マーン遺贈



《聖イレネに介抱される聖セバスティアヌス》
1619年 油彩／カンヴァス
ボローニャ国立絵画館

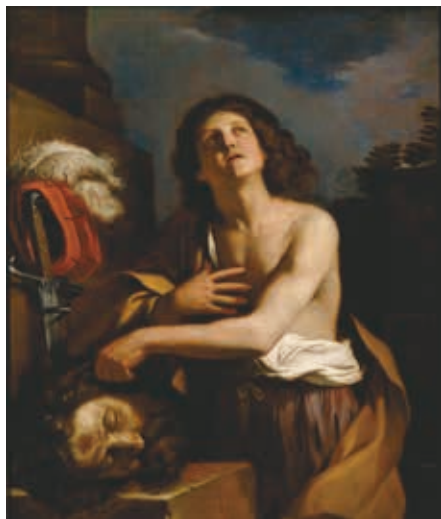
グエルチーノはイタリア・バロック絵画を代表する画家の一人です。当館にも《ゴリアテの首を持つダヴィデ》という彼の作品があるので、名前を聞いたことのある方もいらっしゃるでしょう。カラヴァッジョほどの知名度はありませんが、その実力は折紙付きです。特に18世紀にはイタリア美術史上最も重要な画家の一人とされました。文豪ゲーテやスタンダーはグエルチーノを高く評価し、作品を訪ね歩いて感動を綴っています。

本展はこのグエルチーノの芸術を紹介するわが国初の展覧会です。彼の代表作と、周辺で活動した画家の作品をあわせた計44点を展示します。

1591年にボローニャ近郊のチェントという小さな町に生まれたグエルチーノは、ほぼ独学

で絵画を学び、若くして名声を轟かせました。1621年にボローニャ出身の枢機卿アレッサンドロ・ルドヴィージが教皇に選出されるとグエルチーノもローマに移り、教皇や枢機卿のために作品を制作しました。グエルチーノのローマ滞在は約一年半という短いものでしたが、彼はローマの最先端の美術を吸収すると同時に、この町で流行しつつあったバロック美術に影響を与えています。帰郷後はイタリア中さらには外国からの注文に応えました。1642年から1666年に亡くなるまではボローニャで暮らし、後の西洋美術の流れに重要な影響を与えるボローニャ派の礎を築きました。

彼は画風を大きく変化させたことで知られています。初期の作品は明暗の差が激しいドラマティックな画風を見せますが、ローマ滞



《ゴリアテの首を持つダヴィデ》
1650年頃 油彩／カンヴァス
国立西洋美術館

在を契機として、明瞭で落ち着いた画風へと移っていきます。主に宗教の物語を題材として、さまざまなドラマを描き分けました。一人の画家の展覧会とはいえ、ヴァリエーションに富んだ内容をお楽しみいただけるでしょう。

グエルチーノは故郷を愛し、ポローニャへ移住するまでのほとんどの時間をチェントで過ごしました。そのため町には彼の作品が多く残るのですが、2012年5月、町は大地震に襲われます。美術館や教会は壊滅的な被害を受け、町に残るグエルチーノの作品の多くはいまも倉庫に保管されています。皮肉なことに、その結果今回の展覧会が可能となりました。本展は震災復興事業でもあり、収益の一部は美術館の再建にあてられます。

ゲアテはチェントの人々についてこう記してい



《マルシウアスの皮をはぐアポロ》
1618年 油彩／カンヴァス
フィレンツェ、パラティーナ美術館

ます。「グエルチーノといえば神聖な名前であって、子供や老人の口にも膾炙している」。それは今も変わりません。小さな町の人々が愛してやまない画家の作品の数々をご堪能ください。

(国立西洋美術館主任研究員 渡辺 晋輔)

表紙

グエルチーノ

《聖母のもとに現れる復活したキリスト》

1628-30年 油彩／カンヴァス チェント市立絵画館

グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家

一般 1,500 円 (1,300 円)

大学生 1,300 円 (1,100 円)

高校生 800 円 (600 円)

* 中学生以下、心身に障害のある方および付添者 1 名は無料 (入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。)

* () 内は 20 名以上の団体料金

* 本展の観覧券で3月3日(火)～3月16日(月)を除き、常設展示も併せてご覧いただけます。

掲載作品 (すべてグエルチーノ)

会期：2015年3月17日（火）～ 5月31日（日） 新館2階 版画素描展示室

小企画展「世紀末の幻想——近代フランスのリトグラフとエッチング」



エミール・ベルナル
《『レ・カンティレーヌ』のための挿絵：返ってくる声》
1892年頃 ジンコグラフ



ポール＝アルベール・ベナール
《見知らぬ人》1900年 エッチング

19世紀末、技術革新や美術理念の推移にともない、フランスにおける版画芸術はいつもの華やきを見せます。この頃になると、画家たちが積極的に版画に取り組むようになり、プレート（版）の上でも独創的な表現が試みられました。

18世紀末に考案されたリトグラフ（石版画）は、長らく大量印刷のための産業的な技術とみなされる傾向にありました。しかし多色刷りの技術が普及するとともに、版に直接デッサンすることができるこの技法は画家たちを惹きつけ、19世紀後半にはおびただしい数の創作版画を生み出します。その一方でより古い伝統をもつ銅版画は、世紀末には昔日の勢いを失いながらも、なお一部の画家たちの創作意欲をかきたて、興味深い作品を残しました。

本展では、当館に所蔵される世紀転換期の版画のうち、当時フランスで名の知れた画家たちが手がけ、独特な幻想性を帯びたリトグラフ（ジンコグラフ[亜鉛版リトグラフ]を含む）とエッチング（腐蝕銅版画）を中心に

ご紹介しします。ポール＝アルベール・ベナールやウジェーヌ・カリエールといった、19世紀末にはすでに名声を確立していた画家から、エミール・ベルナルやシャルル・コッテといった、同時期に新しい美術のあり方を模索していた画家たちの版画まで、これまで展示の機会が稀であった作品を多くご覧いただけます。また、当館の常設展示室では、こうした画家たちの絵画作品も目にすることができます。彼らの版画家としての意外な一面を垣間見ていただくとともに、異なる技法・媒体の作品のあいだにどのような表現様式の類似や差異があるのか、比較する面白さもぜひ味わってみてください。

（国立西洋美術館研究員 袴田 紘代）

常設展（本展は常設展料金でご覧いただけます）

一般 430円（220円）

大学生 130円（70円）

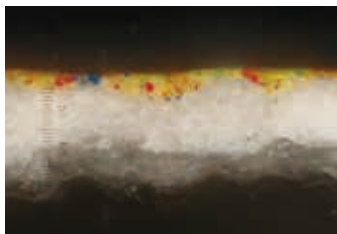
*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

保存科学の仕事



カミーユ・ピサロ《収穫》
1882年 テンペラ/カンヴァス



《収穫》から採取したサンプルの断面写真。
白い地塗りが2層と、その上に彩色層が
1層ある。メジャーの1目盛は2 μ m。

保存科学とは、美術作品を保存するための科学のことです。この仕事は、①作品の劣化を防ぐために環境を整えること、②作品を深く知るために材質や技法を調査すること、に分けられます。①では、温度、湿度、照度などを整えたり、展示室で使う塗料や接着剤から有害なガスが出ていないかを調べます。また、虫・カビや地震から作品を守るための対策、作品貸出先の環境チェックなど、作品を取り巻くあらゆることに気を配ります。②では、作品にX線や紫外・赤外線を当てる非破壊調査のほか、微量のサンプルを採取して絵具を調査することもあります。作品の構造や材料・技法を知ることで最適な環境を用意できるので、①につながります。しかし、サンプルを採取できたとしても0.5 mmに満たない大きさですので、専門的な設備が整っていなければ分析は困難です。当館には作品の科学的調査のために2つの実験室があり、電子顕微鏡やフーリエ変換赤外分光光度計（絵具、接着剤などの分析に使用）などがあります。このような設備があ

る美術館は、日本では数えるほどしかありません。

最近、当館のカミーユ・ピサロ作《収穫》から採取した微小サンプルを米国・ゲッティ保存研究所と共同で分析したところ、乾性油ではなく動物にかわ（動物の骨、皮などから抽出したゼラチンを主成分とする物質）を用いて描かれていることがわかりました。過去にも、作品の外見からこのような指摘がされたことがありましたが、分析により明確な答えが出たのです。この結果を受けて、作品の額にアクリル低反射ガラスを入れて展示することになりました。画面の洗浄が難しいので埃などの汚れから守るためと、湿度の変化をうけないようにするためです。このように、作品の保存は科学的な調査に支えられているのです。

（国立西洋美術館研究補佐員 高嶋 美穂）

EVENT イベント

グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

● 講演会

日 時：3月14日（土）
14:00～15:30

高橋 健一（和歌山大学准教授）
「ボローニャ派とグエルチーノ」

日 時：4月11日（土）
14:00～15:30

宮下 規久朗（神戸大学教授）
「グエルチーノとバロック美術」

日 時：5月16日（土）
14:00～15:30

渡辺 晋輔
（国立西洋美術館主任研究員）
「グエルチーノの生涯と芸術」

日 時：5月30日（土）
14:00～15:30 ※同時通訳付き

デイヴィッド・M・ストーン（デラウェア大学教授）
「紙からカンヴァスへー
グエルチーノの創作プロセスを追う」
（助成：鹿島美術財団）

会 場：国立西洋美術館講堂（地下2階）

定 員：各回先着 140 名（聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券が必要です。）

参加方法：当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚
聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます（自由席）。

● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って説明します。

日 時：3月13 日（金）、3月27 日（金）、4月10 日（金）、4月24 日（金）、5月15 日（金）
各回18:00～（約30分）

会 場：国立西洋美術館講堂（地下2階）

解 説 者：中江 花菜（東京藝術大学大学院）

定 員：各回先着 140 名（聴講無料。ただし、本展の観覧券が必要です。）

※直接講堂にお越しください（開場時間は各日とも開演の 30 分前）。

※講演会、スライド・トークの内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル（03-5777-8600）でご確認ください。



展覧会カタログ

3月3日（火）から5月31日（日）まで開催の
「グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家」のカタログです。

2,400 円（税込み）

Museum shop ミュージアム ショップ

おすすめ本

「グエルチーノ展」を
さらに楽しむために

●バロック美術の成立

宮下 規久朗著

山川出版社 787円（税込み）



バロック美術は、「歪んだ真珠」(barroco) を意味するポルトガル語に由来する、17世紀の美術・建築の様式です。本書は、強い明暗対比やダイナミックで動感的な構図を特徴とするバロック美術の特徴を、通史として紹介するのではなく、その成立から終焉にいたる流れを、キリスト教の聖性と幻視の視覚化を追求する過程として捉え、殉教、回心、法悦という主題と並行させながら紹介しています。カラヴァッジョが光と空間

表現のなかに追及した幻視の系譜を追いながら、それがやがて聖堂の天井画と劇場的なイリュージョニスティックな空間表現へと変質していくさまを明らかにしています。グエルチーノが活動した時代の息吹を感じる一助となる本書を、展覧会とあわせてお楽しみください。

Café カフェすいれん



「グエルチーノ展」
よみがえるバロックの画家」
特別メニュー

期 間 3月3日(火)～5月31日(日)

●仔牛のミラノ風カツレツ

1,620 円（税込み）

仔牛のカツの上にパルメザンチーズをふんだんにのせ、トマトソースをかけて食べるミラノ風に仕上げました。つけあわせは季節によって変わります。

(1日15食限定)

スープ、サラダ、自家製パンまたはライス付き

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェすいれん）で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示]

2015年2月～7月

休館日 土・祝日

FEB 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

全館休館 1月13日(火)～3月2日(月)

MAR 3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

常設展示室閉室 3月3日(火)～3月16日(月)

グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家 3月3日(火)～5月31日(日) (企画展示室)

世紀末の幻想—近代フランスのリトグラフとエッチング 3月17日(火)～5月31日(日) (新館2階 版画素描展示室)

APR 4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木

グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家 3月3日(火)～5月31日(日) (企画展示室)

世紀末の幻想—近代フランスのリトグラフとエッチング 3月17日(火)～5月31日(日) (新館2階 版画素描展示室)

MAY 5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家 3月3日(火)～5月31日(日) (企画展示室)

世紀末の幻想—近代フランスのリトグラフとエッチング 3月17日(火)～5月31日(日) (新館2階 版画素描展示室)

JUN 6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

ボルドー展 —美と陶酔の都へ— 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室)

JUL 7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金

ボルドー展 —美と陶酔の都へ— 6月23日(火)～9月23日(水・祝) (企画展示室)

●臨時休館・一部閉室・臨時開館のお知らせ

*1月13日(火)～3月2日(月)は館内整備のため全館休館します。

*3月3日(火)～3月16日(月)は常設展示室を閉室します。

*3月30日(月)・5月18日(月)は開館します。

●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。

(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第62号

編集・発行 国立西洋美術館/2015年2月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット